



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 36

2011.4.6 (No.2633)

第2560地区ガバナー／東山 昕也
会 長／樺山 仁
会長エレクト／山田 富義 (クラブ奉仕A)
副 会 長／杉山 幸英 (クラブ奉仕B)
幹 事／明田川 賢一
S A A／若槻八十彦
会 計／松永 一義

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:52名中42名
■先々週出席率:74.00%

【ヴィジター】

米山奨学生
ジャック・テイオ・ヨー・チオ君

【先週のメイクアップ】

【3.24】三条東RCへ

・斎藤弘文さん、菊池 渉さん
・中村和彦さん、丸山行彦さん

【3.24】燕RCへ

・加藤紋次郎さん

【3.29】三条北RCへ

・斎藤弘文さん、菊池 渉さん
・藤田紘一さん、成田秀雄さん
・松永一義さん、浅野金治さん
・五十嵐浩さん、熊倉昌平さん

【3.31】三条東RCへ

・荻根澤隆雄さん

【4.4】市内4RC次年度会長幹事会へ

・山田富義さん、小出子恵出さん

【4.5】市内4RC会長幹事社会奉仕委員長会議へ

・樺山 仁さん、野崎喜一郎さん



BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS

「地域を育み、大陸をつなぐ」

2010～2011年度国際ロータリーのテーマ

「杏」



会長挨拶

樺山 仁会長

改て月が
大陸をつなぐ



御挨拶致します。

卒業シーズンの3月、子供達の、又仲間との惜別の3月であります。4月から新しい年度が始まりますが、日本の国の中では大震災の影響で経済の活動にブレーキがかかり、とんだ品薄商品を生み出したり、とんだ社会となっています。

又、最高学府は出たけれど、就職先は未だ決められず、浪人の学生も多く、辛い3月であろうと思います。

大学の就職の事はさる事ながら、受験戦争も大変で、一流大学に少しでも手が届く事が出来るかどうか、子供達は神経を注いでおります。

有名校の受験で、携帯を使つてのカンニング行為が社会を騒がせましたが、親の気持ち、経済力を考え、子供は少しでも金のかからない国立大を希望しておった様です。全く許せない行為であった事件でしたが、親孝行のつもりがとんだ方向に行ってしまった様です。親の支援で学業を卒業して、企業への就職は自助努力でやらねばなりません、自己の能力にも限界がある事を、実社会に出てから理解するものと思います。

我々が日常利用しておりますパソコンや、携帯電話といったITは、多機能や高付加価値の機種が要求されて来ております。我々高齢になると、なかなかめんどうになる一方です。

幹事報告

明田川賢一 幹事

現代は、必要な情報がすぐに入手出来るのは素晴らしい事ですが、あまりにも世の中に情報があふれ過ぎる様で、とんでもない事件、大学の入試問題の件、カンニングがいつも簡単に出来る事が驚きです。

携帯電話の圧倒的な普及は世界的であり、昨年の日本での調査では、高校生の60%が授業中に、50%の方が風呂の中でも携帯電話を使っており、禁止されている学校でも、校則を守っておる生徒は30%以下であると、調査結果が出ている様です。

携帯電話の使い方ではメールがトップで、1日20通以上が50%、1日で50回もの人が20%にもものぼっているそうです。

電車やバス利用の際、優先席の近くでは携帯電話の電源を切る様にと、医療機器を使用している人々への配慮をしなければならない訳ですが、公共の場でのマナーが求められている訳で、他人への配慮が必要とされております。

携帯電話はメール、テレビ、音楽など、24時間いつでもどこでも接触して体の一部の様になり、若しそれを一部規制するとなると、メール依存症、ゲーム依存症の禁断症状に似た症状が出て来て、「ネット依存症」になってくると言われ、既に韓国や中国では、ネット依存症相談センター等が設けられ、既に治療施設が各国に急成長している様です。

今、現代社会では、こうしたITはなくてはならないものでありますが、一方では人と人とのコミュニケーションが希薄になって、ネット依存に陥ってゆく若者が多くなる事に、危惧の念を抱かざるを得ないと思われまます。

あまり便利過ぎて、人間そのものの記憶や計算能力が退化するのではないかと心配しております。

今日は、我々の身近なITの事について、考えて見ました。

挨拶を終わります。

◎東山ガバナー事務所より

「2011-12年度 RI理事指名委員会委員決定のお知らせ」
国際ロータリー第2560地区

2011-12年度 RI理事指名委員会 委員
三条南RC会員 馬場 信彦氏

◎ニュージーランド及び太平洋諸島のロータリークラブより、クライストチャーチ地震義援金の御礼メッセージが届いております。

◎石本ガバナー・エレクト事務所より

「2011-12年度 地区協議会開催のご案内」
日 時 5月21日(土) 登録受付 9:00～
協議会 10:00～
懇親会 16:30～

場 所 ホテルイタリア軒

出席者 2011-12年度 クラブ役員・地区役員

※委員長欠席の場合は、必ず代理出席者を指名願います。

◎東山ガバナー事務所より

「ロータリー山の会のご案内」

【日時/場所】

6月4日(土)

17:00 ぬしんの里 やすらぎ荘(上越市板倉区)集合
18:00 懇親会(16:00以降チェックインOK)

6月5日(日)

8:00 やすらぎ荘 出発 関田峠～小沢峠

【参加申込】

5月10日(火) 東山ガバナー事務所 必着

◎下田ライオンズクラブより

「第31回 7クラブ有志ゴルフ会開催のご案内」

日 時 6月25日(土) 9:36 OUT・IN同時スタート
場 所 下田城カントリークラブ



米山奨学生 ジャック・ティオ・ヨー・チオ君へ奨学金の授与

ニコニコBOX

樺山 仁さん

被災者の大人の方々に少しでも元気が出るような支援が期待されます。よろしくお願ひ致します。
山田会員のペット報告です。よろしく頼みます。

小越憲泰さん

肋骨骨折で1カ月休会しました。おかげ様ですっ
かり治りました。クラブよりお見舞ありがとうございます
ございました。

山田富義さん

PETS報告です。昼寝しながら、聞いてください。

菊池 渉さん

毎日、TVの前で感動したり、涙ぐんだりしていま
す。ソフトバンクの孫さんの100億円には感動！
携帯、ソフトバンクに代えようかな？

阿部吉弘さん

娘が本日、三条小学校へ入学しました。

平原信行さん

燕の市議会議員の方が、燕・三条みどりの公園の
植樹に避難者の方を連れてこられ、N.P.Oみどり、
緑の会員と一緒に植樹してきました。

田中 仁さん

色々、大変なことがあります、気分転換。

五十嵐昭一さん

やっと暖かくなり、春めいてきて、ほっとしてお
ります。

加藤紋次郎さん

天気もよし。卓話もよし。
山田さん、楽しみにしています。

渡辺勝利さん

山田会員、卓話ありがとうございます。
日本晴れで桜のつぼみが大分ふくれました。

熊倉昌平さん

山田会長エレクトのご活躍を祈ります。

杉山幸英さん

山田富義会長エレクトにエールを送ります。

五十嵐浩さん

やっと春が来た感じがします。
都合により早退します。

渋谷健一さん

都合により早退しますこと、お許し願ひます。

石橋育於さん

本日は都合により早退させていただきます。
山田さんの卓話をお聞きできずにすみません。

齋藤真澄さん、 会田二郎さん、 船越正夫さん、
松永一義さん、 若槻八十彦さん、五十嵐晋三さん、
高橋 司さん、 明田川賢一さん、丸山行彦さん、
歸山 肇さん

山田会員、本日はPETS報告ありがとうございます。
楽しみにしております。

4月6日分 ￥30,000

今年度累計 ￥880,000

卓 話

「PETS(会長エレクトセミナー)報告」

地域を育み

山田富義 会長エレクト

大いにつな



3月19日(土) ホテルイタリア軒で開催されました。

3月11日(金) 午後に発生した東日本大震災により、中止もしくは延期と思っていましたが予定通り開催されました。

会場は国旗、ロータリー旗、会長エレクトセミナーの看板も無く、質素な会場でした。

○国際ロータリー2011～12年度会長 カルヤン・パネルジー氏は、1942年インドカルカッタ生まれで69才です。

インド工科大学カラグ校で化学工学を専門に学び、保健と教育の分野におけるインフラ整備に深く関与して発展に大きく貢献してきました。

1972年にパピ、ロータリークラブ会員となって以来、ロータリーのあらゆるレベルで活躍されてきました。

◎国際ロータリー2011～12年度のテーマ

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」
『世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない』

と、かつてマハトマガンジーは言いました。

私たちが求めている『変化』とは、どのようなもののでしょうか。

ロータリーではよく“より平和な世界の構築”と言うことを耳にします。自分の中に平和をもたられなければ、世界に平和をもたらすことは出来ません。

真の平和というものは、まず自分の心の中から生まれなければなりません。

自分の心が平和であれば家族が平和になり、平和を地域社会、国、そして世界の人々と分かち合うことが出来るのです。

新年度の第一の強調事項は、「家族」です。もっと、喜びと、調和と、希望にあふれた社会を望むなら、まず「家族」を見直さなければなりません。「家族」こそが社会の礎であり、家族が崩壊すれば、社会が、そして、全てが崩壊します。

そのためには、住むところ、綺麗で安全な水、衛生、医療、又、母子に関するあらゆる課題に目を向けなくてはなりません。

強く安全な家があってこそ、強い家族が築け、強い家族があってこそ、この世の中に、健康と、希望と、調和がきずけるのです。

第二の強調事項は、「継続」、つまり、ロータリーが得意とすることを、さらに強化していくということです。綺麗で安全な水を確保すること。識字を普及させること。新世代の若者と色々な課題に取り組むこと。私たちは、これ等で大きな成功を収めてきました。そして、ポリオの撲滅も、時間はかかりましたが、必ず成功するでしょう。

ある諺に、「困難だといわれるものは、実はすぐに出来、不可能だといわれるものには、もう少し時間がかかるだけなのだ。」とありますが、不可能と思われることを達成するには、根気強い取り組みを続けねばなりません。皆様が奉仕活動をする上で、ロータリーの得意とするものを継続することに集中していただくよう、お願いするのはこのためです。その反面、改善すべきこと、変えるべきこと等、まだ取り組むべきことは多くあります。

そこで、2011～12年度の第三の強調事項は「変化」です。

私たちが求めている変化を、身をもって実践することです。平和を望むならば、自分の生活、自分の家族、自分の地域社会で、平和を築くことから始めましょう。環境破壊に歯止めをかけたいならば、子どもの死亡率を減らしたいならば、飢餓を無くし、私たち自身がこの変化の担い手にならなければなりません。「変化」は、まず自分の中から起こしていくべきなのです。

私は今日、皆様に申し上げたいのです。まず自分の心の中を見つめ、自信と確信を持って、皆様一人一人が立てた目標に向かって進んでいただきたい。自分自身を見出し、自分の力を育み、そして、ためらうことなく、恐れることなく前進しながら、世界の人々に博愛を広げてください。

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」これが今年度の私たちのテーマです。

「自らの足元を見直そう」

国際ロータリー第2560地区

石本隆太郎 ガバナーエレクト

ロータリーが誕生して100年余り。ロータリー運動も、大きな転換期を迎えています。これは、単に経済不況というより、もっと大きな変化。

例えば、ロータリーの根幹であった資本主義経済システムそのものが変化しつつあり、これまでの企業論理だけで繁栄が約束される時代でなくなったからではないでしょうか。

カルヤン・バネルジーRI会長の年度テーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」は、内面的な心の部分に主眼をおいており、近年、低迷を続ける日本のロータリーにとっても、分かりやすいものでした。先進国の中で一際、会員減少が際立っている現状から、地区運営の基本方針を述べる前に今一度、ロータリーの原点を見つめ直してみたいと思います。

*ロータリーの新たなる出発に向けて

ロータリー歴が20年以上の方は、目をつぶって、新人の頃を思い浮かべてください。

20年前と比べて、会員数は減っていませんか？

会員の平均年齢は上がっていませんか？

会員の出席率は下がっていませんか？

もし、どの項目も「YES」であったならば、皆さんのクラブは、かなり危機的な状況にあるといえます。

先般、過去10年間の会員数推移を比較したデータが発表になり、アメリカを始め先進国の多くが会員減少している中でも、日本は10年前に比べて15%減と飛びぬけていました。

第2560地区における会員数の減少も顕著で、20年間でクラブ数が47クラブから57クラブに増加したにもかかわらず、600名余り減少しております。

都道府県別将来人口予測によれば、新潟県人口もこれからの20年間で約2割も減る見通しで、ロータリーの会員数に影響をもたらさないはずがなく、まさに“今、そこにある危機！”です。

基本方針を「自らの足元を見直そう」としたのはそのため、全クラブが会費、例会日、例会時間等の全面的見直しに着手し、人口減少・高齢化時代に備えるとともに、例会内容を充実させ、地域の住民ニーズに合致した奉仕活動に、真剣に取り組まなければなりません。

地区の具体的経営方針 7つのお願い

1世紀余りのロータリーの歴史を振り返ってみて、改めて皆さんに問いかけてみたい。

皆さんは、何故、ロータリーに入会したのですか？
皆さんは、ロータリーに入会して、何をやりたいのですか？

皆さんの家族、社員、地域の人々は、ロータリーが何をしているか知っていますか？

カルヤン・バネルジーRI会長の年度テーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」の意味を十分に咀嚼し、7月からのロータリー年度が皆さんにとって輝かしいものとなるために、次の7つを地区の具体的運営方針として掲げました。

1. RI会長の年度テーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

地区内全会員がこの意味を理解し、意欲を喚起し、ロータリーの綱領を推進しよう。

2. ロータリーの原点を大切に

二つの標語

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

「超我の奉仕」

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

3. 守るべきことは守り、改めるべきことは改める。

変化に対応できなければ、絶滅した恐竜・マンモスと同じ運命をたどる。

4. “Simple is the Best”をモットーに

(シンプル イズ ザ ベスト)

家族を巻き込みながら、楽しいクラブ運営の推奨を努める。

5. 会員増強の重要性

どんなに素晴らしいことでも、一人では何も出来ない。

女性会員、若手会員を問わず、より多くの仲間を作ろう。

6. 地区会計の徹底的見直し

長期的には、人口減＝会員減＝収入減は避けられない。

現実を直視し、地区会計の既成概念の打破に努め、収支基準と仕分けが急務。

地区会計は、会員の拠出金により成り立っている。

奉仕の理念の実現と、会員の負担軽減に配慮しながら、効率的運用に努める。

7. ロータリー財団、米山奨学金への寄付の積極的参加

ロータリーにおける寄付は、原則、自発的なものでなければならない。

各事業の有用性を十分に説明し、理解した上で、より大きな協力をいたごう。

社会奉仕委員長 野崎 喜一郎

三条ロータリークラブ・三条ローターアクトクラブ合同

「トリムの森 ゴミ拾い・草刈り」参加ご協力をお願い

榊山年度の社会奉仕活動として、トリムの森のゴミ拾い(4/29)、草刈り(6/11)を三条ローターアクトクラブと合同で開催致します。ご協力よろしくお願ひ致します！

日 時／平成23年 **4月29日**(金・昭和の日) … ゴミ拾い

6月11日(土) ……………草刈り

●両日ともに AM 6:30から

●当日の参加はメイクアップ扱いになります。

集合場所／トリムの森

お 願 ひ／雨天決行させていただきますので、各自雨具のご用意をお願ひ致します。

次週例会 4月20日 卓話 榊山 仁会長

次々週例会 4月27日 「ロータリー雑誌月間」
雑誌委員長 阿部 吉弘 会員

